



***iRobot***<sup>®</sup>

Roomba<sup>®</sup> 800 シリーズ

取扱説明書



# 目次

安全上のご注意.....	2
はじめに.....	6
ルンバ 800 シリーズの名称.....	8
ルンバを使う.....	10
タイマー予約.....	12
付属品.....	13
ルンバのお手入れ.....	16
困ったときは.....	22
ユーザー登録する.....	24
アイロボットサービスセンター.....	25

## 安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や物的損害（ルンバ本体および付属品を含む）を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

表示について

 **警告**「人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの」を示します。

 **注意**「人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの」を示します。

図記号について

 この行為は、禁止されています。

 この行為を、必ず実行してください。

 この行為は、注意が必要です。

**注意**

- ・ 万一、製品から煙がでたり、変なにおいがしたり、製品が過熱したときは、ただちに使用を中止してください。発火・感電の原因になります。
- ・ 製品からバッテリー・乾電池を取り外してください。
- ・ 煙がでなくなったことを確認し、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。お客さまによる修理は、危険ですから絶対におやめください。
- ・ 電源コードは本製品以外に使用しないでください。

ルンバ本体・付属品

 **警告**



引火性の高いものの近くで使わない、バッテリーを装着したままで可燃性スプレーを使わない  
爆発や発火の原因になります。



食用油や機械油を吸わせない  
発火や故障の原因になります。



分解・修理・改造・改変をしない  
発火・発熱・感電・けがの原因になります。



重いものを載せたり、投げたりしない  
故障の原因になります。



充電直後は、ルンバ裏面の端子に触れない  
やけどの原因になります。



濡れた手で触らない  
感電の原因になります。



濡れる場所に置かない、濡れる場所で使用しない  
感電や発火の原因になります。



水洗いしない、濡らさない  
感電や発火の原因になります。



雷が鳴ったら、電源プラグに触らない  
感電の原因になります。

-  高いところや不安定なところで使わない  
落下による、けがや故障の原因になります。
-  ルンバの排気口をふさがない  
ルンバの変形や発火の原因になります。
-  ルンバの排気口から金属や燃えやすい異物などを入れない  
感電・発火・故障の原因になります。
-  子供やペットの近くでルンバを使わない  
けがの原因になります。
-  故障や異常があるときは使用しない  
感電・発火・更なる故障の原因になります。
-  電源コード、ホームベース、電源プラグを破損しない  
無理に曲げる、引っ張る、重い物を載せるなどの行為により破損すると、感電・発火の原因になります。
-  お手入れの際は、必ず電源を切ってください  
けがをすることがあります。
-  お手入れの際は、指をはさまれないようにご注意ください  
けがをすることがあります。
-  ブラシやフィルターは、ルンバの純正品を使うこと  
故障の原因になります。
-  家庭用のコンセント（交流 100V）で使うこと  
火災の原因になります。
-  電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持つこと  
感電・発火の原因になります。

## ⚠ 注意



動作中はルンバの裏面に触れない  
けがの原因になります。



センサー、バンパー、車輪にシールやテープを貼らない  
センサーが正常に動作しなくなり、故障の原因になります。

## バッテリー・乾電池

## ⚠ 警告



分解・改造・改変をしない  
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



火中に投じない、加熱しない  
液漏れや爆発の原因になります。



バッテリーの端子部を金属などで接続しない  
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。



水洗いしない、濡らさない  
感電や発火の原因になります。



液漏れたときは、素手で触らない  
液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。



ルンバ純正のバッテリーを使うこと  
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

## 使用上のご注意

ルンバは一般家庭用の製品です。ほかの用途にはご使用になれません。ルンバを快適に、より安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

### 使用できない場所

傷みやすい敷物や床材、壁材

- 毛足の長いカーペット
- デリケートなカーペットやムートン、フェルト素材の敷物
- 柔らかい材質や黒および濃い色のフローリング床面
- ワックス塗りたて、またはフロアコーティングをしたフローリング床面（ご使用前に施工業者にご相談ください）
- デリケートな建材（漆喰やけいそう土などの塗り壁）

ルンバが故障しやすい場所

- 毛足の長いカーペットの上、ふとん、毛布、マット、ベッド
- 高く不安定な場所、風呂場などの濡れた場所
- ストープなど高温になる機器の周辺
- タイル張りの床、大理石等の石材の床、コンクリートの床、屋根裏、石畳、屋外、倉庫、工場

### 事前に準備が必要な物や場所

保護する必要があるもの（ルンバが振動を与えたり接触する可能性があります）

- 漆塗りなど傷のつきやすい光沢のある家具や置き物、屏風など
- 軽い振動で倒れたり壊れたりしやすい陶磁器類、ガラス工芸品類、姿見など
- 机や台などが受けた軽い振動により、破損や落下する恐れのある陶磁器類など
- 吸い込まれやすいもの（アクセサリーなど）

移動する必要があるもの

- 水、油（食用油、機械油など）、揮発性の高い液体類（アルコール、ベンジン、ガソリンなど） →片づけてください
- ペットなどの排泄物 →片づけてください
- 電気機器やパソコンのコード →絡まないようにまとめてください
- カーペットやマットの端の長い房など →内側に折り込んでください
- 床につくほどの長いカーテン →持ち上げてまとめてください

ルンバの動作を妨げる場所

- 高さ 10cm 未満の狭い場所を、ルンバは走行できません。ルンバの通路をふさぐものを、あらかじめ移動させてください。
- 床の敷居や段差などは、高さによりルンバが乗り越えられない可能性があります。走行中に引っ掛かってしまう場合には、ルンバが入り込まないように準備してください。
- 床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。

## バッテリーの正しい使いかた

ルンバは内蔵されたバッテリーで動作します。使いかたを誤ると、バッテリーの寿命が大幅に縮んだり、バッテリーが破損することがありますので、以下をよくお読みになり、バッテリーを正しくお使いください。

**注意** 次の行為は、バッテリー破損の原因になります

- 落下などにより強い衝撃を与える
- 電源コンセントに接続されていないホームベースに、ルンバを接続する
- ホームベースに接続せず、バッテリーをルンバに入れたまま 1 週間以上放置する
- 取り外したバッテリーを、3 ヶ月以上放置する
- 直射日光が当たる場所や高温の場所に、バッテリーを放置する

**注意** 充電開始後は、バッテリーアイコンが緑色に点灯するまで中断せずに充電してください。

- 充電中に、バッテリーカバー周辺が熱くなることがあります。そのようなときは、十分に冷めるまで待ってから、ルンバを使用してください。
- 使用頻度が著しく低い場合、バッテリーの寿命を縮める原因になります。少なくとも 1 週間に一度使用するが、充電してください。1 週間以上使わないときは、バッテリーを十分に充電した後に取り外し、冷暗所で保管してください。
- ルンバの電源が切れていてもバッテリーは少しずつ消費され、数日でバッテリー切れになります。充電せずに 1 週間以上放置すると、バッテリーが過放電(バッテリーあがり)を起こし、寿命が短くなったり破損したりします。
- ルンバをご使用にならない場合でも、常に充電してください。

- 充電せずに長時間放置したときは、過放電によりバッテリーが破損している可能性があります。

- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください。安全のため、端子部が隠れるようにセロハンテープなどを貼ってください。

お問い合わせ：JBRC <http://www.jbrc.com/>



Li-ion 00

## 電波に関するご注意

- 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 以下の機器や無線局は、一部製品に搭載されているものと同じ 2.4GHz 周波数帯の電波を利用しています。
  - 産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線 LAN 機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
  - 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
  - 免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
- 以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療用機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください。

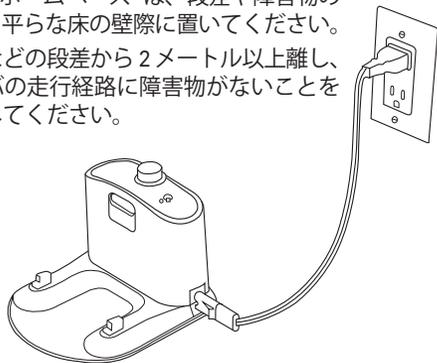
## はじめに

ルンバ®を使用するには、ルンバ®本体、ホームベース™、電源コードが必要です。同梱品の一覧は、パッケージの裏面をご覧ください。

### 1 ホームベース™を設置する

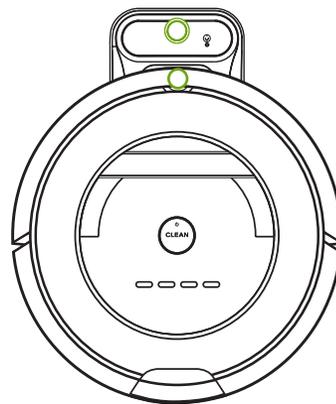
ホームベースを壁際に設置します。電源コードをホームベースに接続し、電源コンセントに差し込みます。

 **メモ:** ホームベース™は、段差や障害物のない、平らな床の壁際に置いてください。階段などの段差から2メートル以上離し、ルンバの走行経路に障害物がないことを確認してください。



### 2 ルンバ®を起動する

ルンバを裏返して、黄色い保護紙と絶縁シートを取り除きます。ルンバをホームベースの上に置いて起動させます。



### 3 ルンバ®で清掃する

ルンバは出荷時に一部充電されているので、そのまま清掃を開始することができます。ルンバの CLEAN ボタンを 2 回押して、清掃を開始してください。ルンバが十分に充電されていない場合、清掃時間が短くなる場合があります。

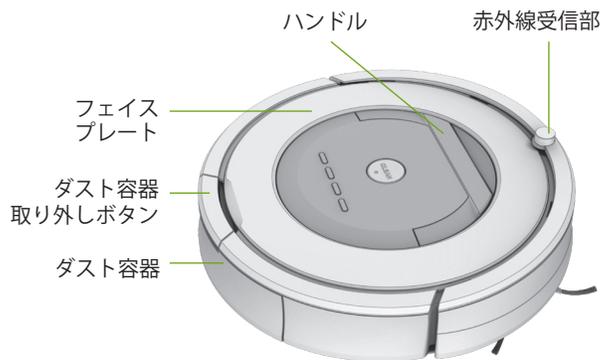


#### 時計の設定方法：

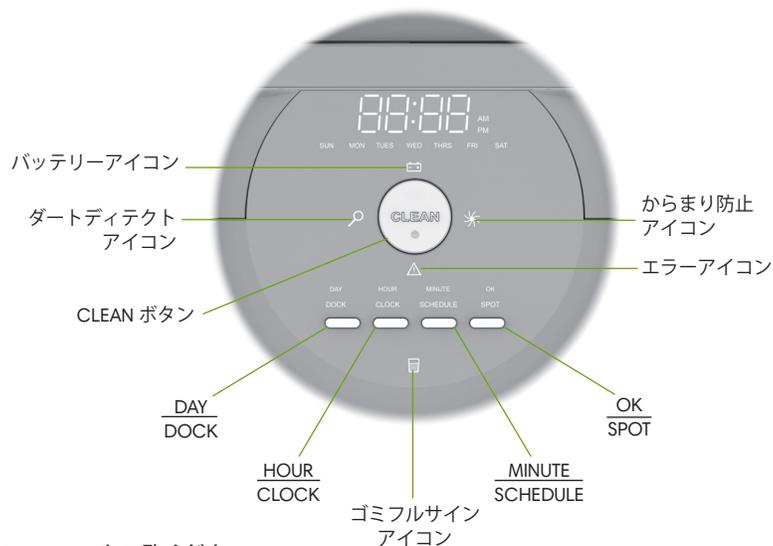
- CLOCK (時計) ボタンを押します。
- DAY (曜日)、HOUR (時)、MINUTE (分) ボタンをそれぞれ押して、正しい時刻に設定します。
- OK ボタンを押すと時計が設定され、ルンバから確認音が鳴ります。

## ルンバ 800 シリーズの名称

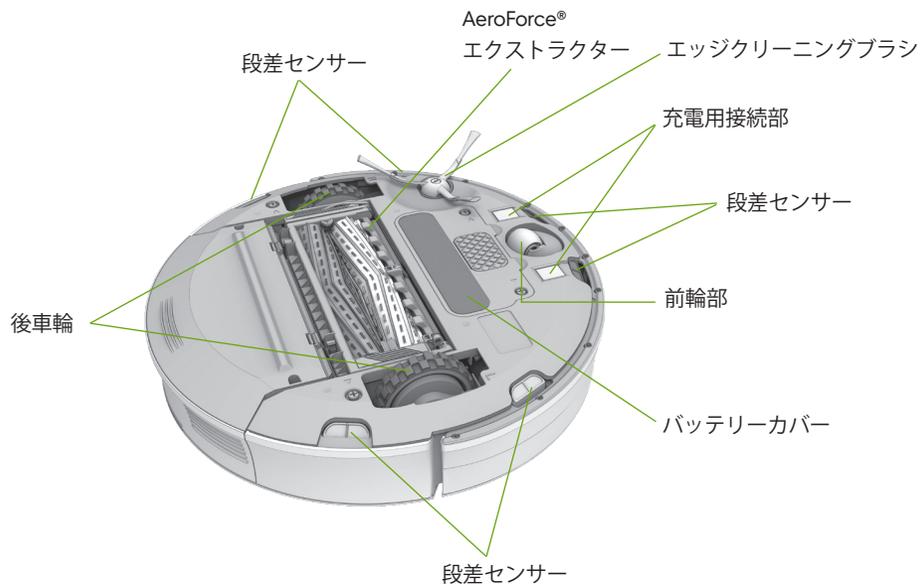
### 天面



### ボタンとアイコン



## 裏面



# ルンバを使う

CLEAN ボタンを押して、ルンバの電源を入れます。清掃を開始するには、再度 CLEAN ボタンを押します。

- 清掃中にルンバを一時停止するには、CLEAN ボタンを押します。
  - » 清掃を再開するには、再度 CLEAN ボタンを押します。
  - » ルンバをホームベースに戻すには、DOCK ボタンを押します。
- スポットモードを使用するには、ルンバをゴミの上に置き、SPOT ボタンを押します。

 **メモ**：ルンバのエラーメッセージは、16 か国語から選択することができます。詳細については <http://www.irobot-jp.com/support/> をご覧ください。

## ルンバを活用するためのヒント

- ルンバをホームベースに設置しておく、常に充電され、必要なときにいつでも清掃が開始できます。
- 清掃を開始する前に、床の上を片付けてください（衣類、玩具など）。また、付属のバーチャルウォールを使うと、ルンバに清掃させたくない場所には立ち入らないようにすることができます。
- 清掃後には毎回ダスト容器を空にして、フィルターを清掃してから充電してください。
- 床をきれいに保つため、ルンバは定期的にご使用ください。

## バッテリーの充電

ルンバのバッテリーは、ホームベースで充電します。充電を開始するとルンバのバッテリーアイコンが点滅します。バッテリーの充電状態については、下の表をご参照ください。

 **メモ**：節電のため、充電開始から 60 秒後にアイコンが消灯します。バッテリーの充電状態を確認するには、一度 CLEAN ボタンを押してバッテリーアイコンを表示させてください。

バッテリーアイコン	バッテリーの状態
赤色 点滅	バッテリー切れ
オレンジ色 点滅	充電中
緑色 点灯	充電完了
オレンジ色 高速点滅	リフレッシュ充電中

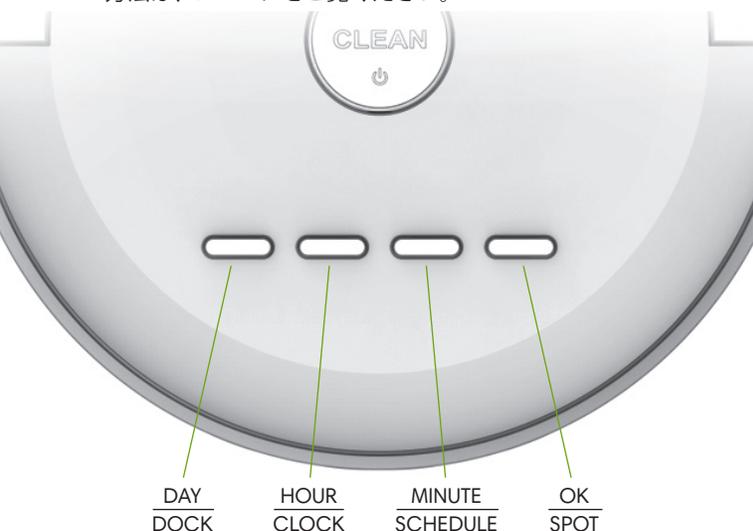
## スポットモード

スポットモードを選択すると、ルンバは直径約1メートルの範囲を集中的に清掃します。まず、中心から外方向にグルグルと円を描きながら清掃し、さらに内方向に清掃しながら開始した場所に戻ります。スポットモードを使用するには、ルンバをゴミの上に置き、SPOT ボタンを押します。



## タイマー予約

ルンバは曜日ごとに1日1回、タイマー予約を設定して、自動的に清掃を開始させることができます。タイマー予約を設定する前に、ルンバの時計を合わせてください。時計の設定方法は、7ページをご覧ください。



### タイマー予約の設定 / 変更

- 1 SCHEDULE (予約) ボタンを押します。
- 2 DAY (曜日)、HOUR (時)、MINUTE (分) ボタンを何度か押して指定します。
- 3 OK ボタンを押すと予約が設定され、ルンバから確認音が鳴ります。

### タイマー予約の消去

- 1 SCHEDULE (予約) ボタンを押します。
- 2 DAY (曜日) ボタンを何度か押すと、設定されているタイマー予約が曜日順に表示されます。
- 3 消去する曜日のタイマー予約が表示されたら、DAY (曜日) ボタンを5秒間押し続けます。選んだ曜日の予約が消去され、ルンバから確認音が鳴ります。
- 4 OK ボタンを押します。



**メモ:** ルンバの時計は、12時間表示 (AM/PM) と 24時間表示から選択できます。表示を切り替えるには、CLOCK (時計) ボタンを5秒間押し続けます。続いて、CLOCK (時計) ボタンを押して12時間表示または24時間表示を選び、OK ボタンを押して設定を保存します。

## 付属品

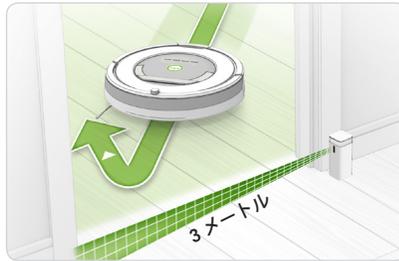
### デュアルバーチャルウォール®

(全 800 シリーズ対応)

デュアルバーチャルウォールは、清掃させたくない場所にルンバが立ち入らないようにします。ご使用しない時も、本体を動作させたまま床に置いておくことができます。ご使用方法に合わせ、2つのモードから選択できます。

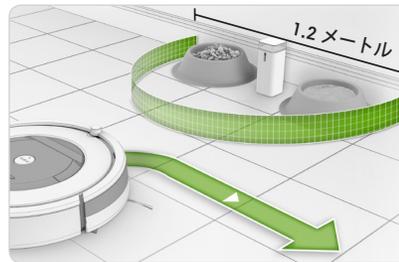


**メモ**：電池の寿命は、通常使用で約 8 ～ 10 か月です。バーチャルウォールを長期間使用しない場合は、スイッチを必ず中央の位置（オフ）にして保管してください。



バーチャルウォールモード：スイッチを上の方の位置（）に合わせると、バーチャルウォール機能が有効になります。最大 3メートルのルンバにしか見えない壁が作られます。

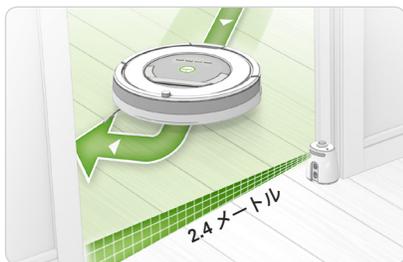
**メモ**：この見えない壁は、本体から離れるほど幅が広がります（イラスト参照）。



ヘイローモード：スイッチを下の方の位置（）に合わせると、ルンバが進入できないエリアが作られます。保護したい物（ペットの餌入れなど）にルンバがぶつからず、望まない場所（部屋の角や机の下など）を通らないようになります。ルンバが進入できないエリアは、半径約 60センチメートルです。

### お部屋ナビ<sup>®</sup>（一部機種のみ対応）

お部屋ナビはご使用方法に合わせ、2つのモードから機能を選択することができます。それぞれのモードは、モードスイッチを切り替えることで簡単に選択できます。ルンバの電源のオン/オフに連動して、お部屋ナビの電源も自動的にオン/オフになります。オンになると、お部屋ナビの電源ランプが点灯します。お部屋ナビの電源ランプが点滅する場合は、乾電池の交換が必要です。



**バーチャルウォールモード：**スイッチを「Virtual Wall」の位置に合わせると、バーチャルウォール機能が有効になります。最大 2.4メートルのルンバにしか見えない壁が作られます。

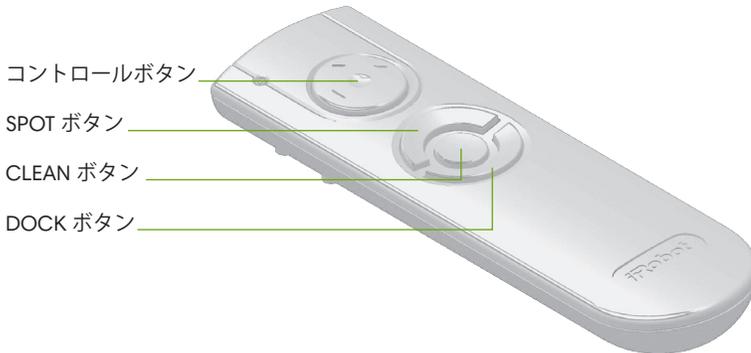
**メモ：**この見えない壁は、本体から離れるほど幅が広がります（イラスト参照）。



**ライトハウスモード：**お部屋ナビのスイッチを「Lighthouse」の位置に合わせると、ルンバは複数の部屋を順に効率よく清掃して、ホームベースに戻ります。お部屋ナビは各部屋の出入口の端に、前面を反対の端に向けて設置してください。ルンバがひとつの部屋の清掃を終えると、お部屋ナビが次の部屋へ誘導します。お部屋ナビとバーチャルウォールは同時に使用できますが、それぞれの近くや、ホームベースの近くには設置しないでください。また、家具などで見えない壁が遮られない位置に設置してください。

### リモナビ<sup>®</sup>（一部機種のみ付属）

リモナビ（リモコン）を使うと、離れた場所からルンバを操作することができます。ルンバ本体に触ることなく、簡単に操作できます。リモナビでは、下図のような操作を行うことができます。



**注意：**リモナビ、バーチャルウォール<sup>®</sup>、お部屋ナビ、ホームベース™は、目に見えない赤外線信号が使用されています。それぞれを近くで使用すると、ルンバが複数の赤外線信号を受信し、正しく動作しない場合があります。ルンバがバーチャルウォールの近くにある時は、リモナビは使用できません。

**メモ：**リモナビを使用する時は、まっすぐルンバに向け、途中に遮るものがないようにしてください。

## ルンバのお手入れ

### お手入れについて

ルンバの清掃能力を最適に保つために、定期的にお手入れしてください。ルンバの吸引力が低下したら、ダスト容器を空にして、フィルターやエクストラクターを清掃してください。

部品名称	お手入れの頻度	交換時期の目安
ダスト容器	使用後毎回	-
フィルター	週に1回（ペットのいるご家庭は週に2回）	吸い込む力が弱くなったとき
ゴミセンサー	2週間に1回	-
前輪部、エッジクリーニングブラシ、段差センサー、充電用接続部	1か月に1回	-
エクストラクター	4か月に1回（ペットのいるご家庭は3か月に1回）	摩耗したとき

 **メモ:** アイロボットの製品にはさまざまな部品があります。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでご連絡ください。

## ダスト容器を空にする

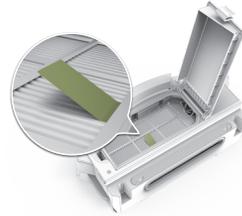


- 1 ダスト容器取り外しボタンを押して、ダスト容器を取り外します。



- 2 吸引口のフタを開けて、ダスト容器を空にします。

## フィルターを清掃する



- 1 黄色いタブをつまんでフィルターを取り外します。



- 2 ゴミ箱の上でフィルターをはたき、ゴミを落とします。

**⚠ 注意：**フィルターが取り付けられていないと、フィルターケースのフタは閉まりません。黄色いタブを上にしてフィルターを取り付けてください。

## 前輪部のお手入れ

- 1 ルンバの前輪部をつまみ、本体から引き抜きます。
- 2 本体側のくぼみの中のゴミを取り除きます。
- 3 前車輪を手で回します。うまく回らない場合は前車輪を取り外し、軸を強く押して抜き取ります。そして、軸に巻き付いているゴミや髪の毛を取り除いてください。
- 4 ゴミが取れたら、すべての部品を元に戻します。前車輪を戻す際には、カチッと音がするまできちんとはめ込んでください。



**注意：**前輪部に髪の毛やゴミが絡まっていると、床を傷つける可能性があります。



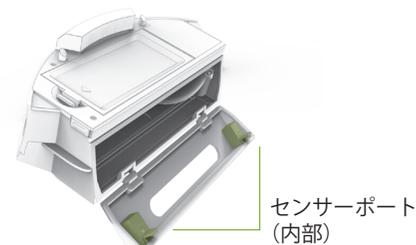
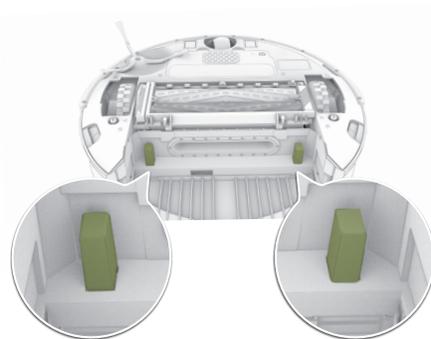
## エッジクリーニングブラシのお手入れ

- 1 硬貨やプラスドライバーを使ってネジをゆるめます。
- 2 エッジクリーニングブラシを取り外して清掃し、元に戻します。



## ゴミセンサーのお手入れ

- 1 ダスト容器を取り外し、ゴミを捨てます。
- 2 センサーを乾いた清潔な布で拭きます。
- 3 センサーポートを乾いた清潔な布で拭きます。



## 段差センサーと充電用接続部のお手入れ

① 段差センサーを乾いた清潔な布で拭きます。

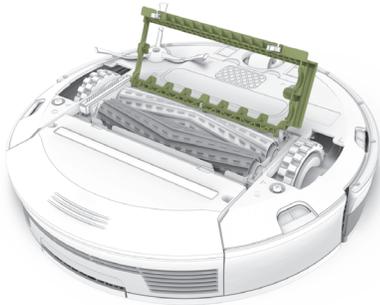


② ルンバの充電用接続部とホームベースの接続部を、乾いた清潔な布で拭きます。



## エクストラクターのお手入れ

- 1 エクストラクターフレームの黄色いレバーを内側に寄せ、フレームを持ち上げて、異物を取り除きます。



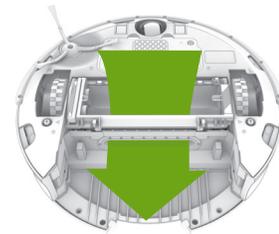
- 2 エクストラクターを取り外し、エクストラクターの黄色いキャップを取り外します。キャップの内側や軸の周りから、髪の毛やゴミを取り除きます。



- 3 各エクストラクターの端にある四角形と六角形の軸の周りにたまっている髪の毛やゴミを取り除きます。エクストラクターの黄色いキャップを元に戻します。



- 4 吸引口を清掃します。



- 5 エクストラクターを元に戻します。エクストラクターの軸の色と形を、本体側に描かれたイラストの色と形に合わせてください。

## 困ったときは

何らかの異常や特殊な状況が発生すると、ルンバはエラー音とメッセージでお知らせします。また、エラーアイコン (△) が点滅します。エラーメッセージの内容に応じて対処してください。この表示とメッセージに関する詳しい情報、対処方法などは、<http://www.irobot-jp.com/support/> をご覧ください。

### エラーメッセージをもう一度聞く

CLEAN ボタンを押すと、エラーメッセージが繰り返されます。ルンバの電源が入っているときは、バンパーを押してもメッセージを繰り返すことができます。

**注意**：ルンバをリセットするには、CLEAN ボタンを 10 秒間押し続けます。これにより時計の設定がリセットされ、エラー内容によっては問題が解決することがあります。

ルンバに関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

アイロボットサービスセンター (<http://www.irobot-jp.com/>) では、使用方法やよくあるご質問、付属品、他のアイロボット製品などに関する情報をご案内しております。

### リチウムイオンバッテリー

安全にご利用いただくため、ルンバに付属している iRobot® リチウムイオンバッテリーのみを使用してください。

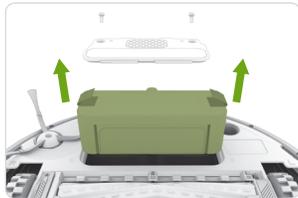
**注意**：リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品（バッテリーを内蔵したものを、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、以下の手順に従う必要があります。

- » 製品からリチウムイオンバッテリーを取り外します。
- » バッテリーの金属製の端子部が隠れるようにセロハンテープなどを貼り、絶縁します。
- » テープを貼ったままの状態でのバッテリーを製品に戻し、バッテリーカバーをしっかりと閉じます。
- » 購入時に製品が入っていた梱包箱か、ご自分で用意した梱包箱（輸送中に製品が動かないもの）に製品を入れます。
- » 輸送される場合は陸送をご使用ください（航空輸送不可）。

## バッテリーの取り外し

以下の手順で、バッテリーの取り外し / 取り付けを行ってください。

- 1 バッテリーカバーの2本のネジをゆるめ、カバーとバッテリーを取り外します。
- 2 バッテリーを元に戻します。バッテリーのラベルとタブが上になるようにしてください。



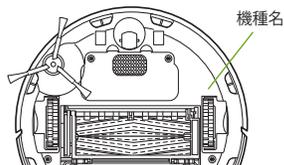
- 3 バッテリーカバーを元に戻し、2本のネジを締めます。バッテリーを戻す際は、エッジクリーニングブラシをバッテリーカバーで挟まないように注意してください。



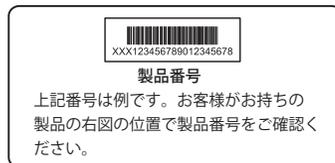
## ユーザー登録する

ユーザー登録に、お客様の製品番号が必要となります。  
製品番号とモデル名は、下記手順にてご確認ください。

- 1 お買い上げのルンバ®の機種名を確認する  
ルンバ®には、複数の機種があります。  
ルンバ®の裏面で機種名をご確認ください。



- 2 お買い上げのルンバ®の製品番号を確認する  
ルンバ®本体裏面（ダスト容器を外すと見えます）  
に記載された製品番号をご確認ください。



確認が終わりましたら、下記サイトにてユーザー登録をお願いします。

<http://www.irobot-jp.com/>

24 ご不明な点や修理に関するご相談は <http://www.irobot-jp.com/> をご覧ください

# アイロボットサービスセンター

ルンバに関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

## アイロボットサービスセンター

TEL：0120-046-669（通話無料）※1

受付時間 9:30～17:30（月～日曜日および祝祭日）※2・3

ホームページ <http://www.irobot-jp.com/>

- ※1 携帯・PHSからもご利用いただけます。
- ※2 午前中は大変混み合いますので、比較的つながりやすい午後におかけください。
- ※3 年末年始、ゴールデンウィークはお休みさせていただきます。また、弊社都合によりお休みさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

***iRobot***<sup>®</sup>

© 2016 iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730. All rights reserved. iRobot、アイロボット、Roomba、ルンバ、iAdapt、Home Base、ホームベース、Virtual Wall、バーチャルウォール、Dirt Detect、AeroForce、エアロフォース、AeroVac は iRobot 社の商標または登録商標です。

米国特許 [www.irobot.com/patents](http://www.irobot.com/patents) | 追加登録申請中 WC:4429691